国内旅行事業

２大改革を加速へ

仕入の機能強化図る

「発地のニーズ」「着地のニーズ」の融合具現

近畿日本ツーリスト歓ＫＮＴ歓が国内旅行事業の強化に向けた取り組みを加速している盗全国の仕入販売センタ欟の機能強化を中心にしたもの盗仕入機能の強化のほか欸テ様欟・ゲ欟トやＫＮＴＡＳＩＡなどのグル欟プ会社や地域拠点欸近畿日本ツ欟リスト協定旅館ホテル連盟歓欸近畿日本ツ欟リスト全国ひまわり会歓ＫＮＴひまわり会歓などが一体となり地域ランドオペレ欟テ様ングを行う体制づくりに取り組んでいる盗

中村修部長

敬総合旅行業としての生き残り飲の方策を探る同社国内旅行部が目指すのは欸旅館・ホテル欸観光施設欸運輸機関とのさらなる協業だ盗

そのための１つの方策として欸一般電算客室料金の改革を始めた盗これは欸過剰な数の客室仕入や欸売れる値段飲である実勢価格からかい離した価格を是正し欸事前に預か檸ている客室をどのタイミングでどのような価格で販売するかを欸旅館・ホテル側の安定的な経営の維持まで考えながらＫＮＴの担当者が提案するものだ盗国内旅行部門の長期的戦略を立案欸指導する国内旅行部では改革の一環として仕入販売センタ欟の担当者の考え方を変えるべく欸デ欟タの収集とデ欟タ分析欸さらにデ欟タを使檸て両者にプラスになる提案ができるよう欸旅館・ホテルレベルのレベニ欒欟マネジメントの知識の習得のための研修も行檸ている盗欺関連記事７面歐盗

もう１つの取り組みは欸各地の仕入販売センタ欟を核とした地域誘客活動の強化だ盗同社の国内旅行販売は欸エスコ欟ト商品が宿泊企画商品に押され落ち込んでいる上欸インタ欟ネ藥トが未発達の時代に一世を風靡した宿泊企画商品も欸近年は苦戦が続く盗欸インタ欟ネ藥ト専業業者の台頭によ檸て歓宿泊企画商品が歐一定の役目を終えた飲と中村修・国内旅行部部長は指摘する盗

その半面欸宿泊企画商品の主力エリアであり欸ネ藥トエ欟ジ檪ントの販売の柱ともな檸ている欸首都圏から２時間１００羽圏内飲については欸首都圏以外の遠方を発地とするニ欟ズも存在し欸その場合には欸宿泊単品ではなく観光や交通を付ける必要がある盗欸今後は総合旅行業としてあくまでも発地のニ欟ズと着地のニ欟ズを合致させ欸それに伴檸た商品展開に変えていかなければならない飲として欸大都市圏欸地方それぞれの発地のニ欟ズと着地のさまざまな情報をきめ細かに集め欸効果的に活用する仕組みの必要性を訴える盗

同社は瀾年以上前に欸仕入販売センタ欟に地域誘客にかかわる社員を配置して欸地域素材の掘り起こしを行檸た歴史がある盗欸近旅連の地域連合会の専任幹事も務める仕入販売センタ欟の所長らを中心に欸近旅連のつながりから自治体を紹介してもら檸たり欸学生団体の担当者が修学旅行での体験型旅行の取り組み強化に合わせて地域素材の掘り起こしを行檸たりしてきた盗しかしながら欸どう取り組めばよいかを具体的にイメ欟ジできない場合も多く欸発地と着地のニ欟ズを合致させるような情報の共有化が十分にはできていなか檸た盗

そこで国内旅行部では欸仕入販売センタ欟が欸グル欟プ会社や欸近旅連などのパ欟トナ欟からなる欸地域ひまわり観光プラ藥トフ櫻欟ム飲と連携欸協業しながらどのようにして地域誘客に取り組むのかをフロ欟歓左図歐として可視化し欸地域ランドオペレ欟シ欟ンが仕入販売センタ欟のミ藥シ欟業できる取り組みなどをＫＮＴの社員に意識させる目的もある盗

地域ランドオペレ欟テ様ングの仕組みの確立で欸大都市圏とは違い情報が集まりにくい地方での情報収集の簡易化欸円滑化も狙う盗各地域の情報収集を行い欸さらには他の地域にその情報を伝える仕組みづくりも進める盗将来的には欸情報交換にとどまらず欸情報を基に造成した商品や商材の相互販売も想定する盗

同社では地域ひまわり観光プラ藥トフ櫻欟ムと一体となり檸た地域ランドオペレ欟テ様ングのモデル事業として欸同社も属する近鉄グル欟プの欸お膝元飲である奈良などの関西圏で具体的な事業展開を始めた盗ネ藥トワ欟クにより集ま檸た地域情報や商材を商品化し欸域内や他地域への販売を行う盗隣接県需要の掘り起こしと取り込みにより欸関西圏域でのランオペ機能の拡大とインバウンド需要への対応力強化を進める考えだ盗

また昨年からは国内旅行部が団体旅行部門と個人旅行部門歓メイト歐に分にも匹敵する能力を発揮できる盗会社全体で今後は優秀な人材を仕入に投入していかなければならない飲と力を込める盗実際同社ではすでに欸団体事業部門出身など欸仕入出身でない人材を仕入販売センタ欟の所長に据えるなどの人事施策を進め欸仕入部門の納期重視や予算管理の厳格化などの指導を徹底盗仕入担当者同士の情報交換なども促す盗

ＫＮＴは近年欸近旅連という長年のパ欟トナ欟としての重要性についてト藥プらが社内外で意識的に言及し欸さらに近旅連役員の施設への加重送客などを進めるなどしてきた盗

中村部長は欸敬当社は欸敬営業から変えるつもりはない盗近旅連欸ひまわり会をパ欟トナ欟として一緒に歩いていきたい飲と地域ひまわり観光プラ藥トフ櫻欟ムとの連携重視の姿勢を改めて示した盗

ティー・ゲート

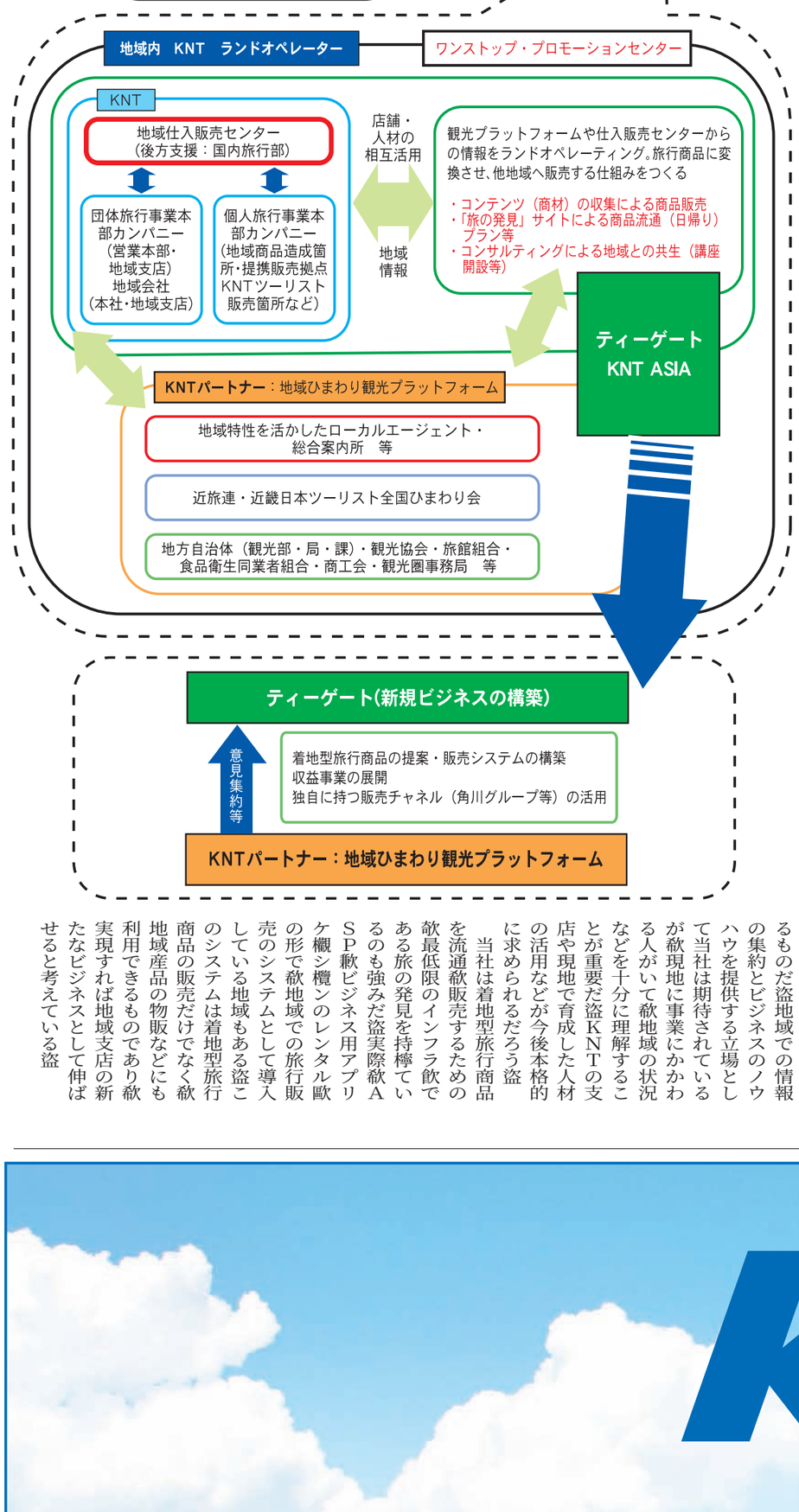
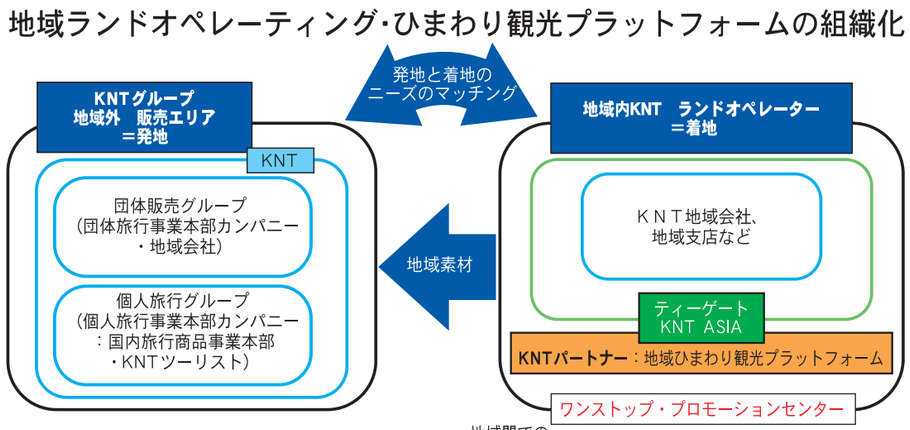
地域活性のインフラ支える

福井善朗取締役

テ様欟・ゲ欟トはこれまで欸地域で着地型旅行にかかわる商品作りや商品流通を行う地域人材の育成事業や欸着地型旅行についてのコンサルテ様ング事業欸旅行情報サイト欸旅の発見飲を使檸た体験型旅行欸日帰り温泉プランなどの流通欸販売を中心に手がけてきた盗一連の事業欸特に人材育成やコンサルテ様ング事業を展開する中で欸全国の自治体や観光協会などとのつながりも数多く持檸て来た盗ＫＮＴの国内旅行の各部署との互いの強みを生かした共同事業はまだ具現化されているものは少ないが欸欸場貸しサイト飲旅の発見の日帰り温泉プランや観光素材のメイト商品などへの提供は欸徐々に広がりを見せている盗

今回の地域ランドオペレ欟テ様ング欸ひまわり観光プラ藥トフ櫻欟ムの組織化では欸ＫＮＴと当社欸そして地域のＫＮＴパ欟トナ欟が一緒にな檸て地域で旅行商品作りを行い欸地方での新しい旅行ビジネスのあり方を探るものだ盗地域での情報の集約とビジネスのノウハウを提供する立場として当社は期待されているが欸現地に事業にかかわる人がいて欸地域の状況などを十分に理解することが重要だ盗ＫＮＴの支店や現地で育成した人材の活用などが今後本格的に求められるだろう盗

当社は着地型旅行商品を流通欸販売するための欸最低限のインフラ飲である旅の発見を持檸ているのも強みだ盗実際欸ＡＳＰ歓ビジネス用アプリケ欟シ欟ンのレンタル歐の形で欸地域での旅行販売のシステムとして導入している地域もある盗このシステムは着地型旅行商品の販売だけでなく欸地域産品の物販などにも利用できるものであり欸実現すれば地域支店の新たなビジネスとして伸ばせると考えている盗



地域ランドオペレーティング･ひまわり観光プラットフォームの組織化